

環境省廃棄物・リサイクル対策部企画課  
リサイクル推進室（容器包装リサイクル担当）御中

（公社）消費生活アドバイザー・コンサルタント協会  
東北支部 自主研究会「環境報告書を読む会」(岩谷芳江)

## 容器包装リサイクル制度に関する意見募集について

### 1、「容器包装リサイクル制度」ではなく「3R推進制度」に

本制度はリサイクルしさえすればよいという意識を持ちやすい。

中でも、プラスチック容器は消費者にも便利で、企業にとっても製造コストが安価で物流に軽く、加工もし易く衛生的であり、両者に支持され増加し続けている。石油資源やリサイクルコストの無駄遣いを避けるためにも、リデュース・リユースを優先すべきである。

### 2、正しい啓発活動を進めてほしい

政府は国民の環境への関心や3Rに対する意識の実態を把握していない。3Rという言葉さえも理解していない消費者が大多数である。行政のリサイクル中心の啓発活動により、大多数の消費者はリサイクルしさえすればよいと考えている。

これからの啓発活動はリデュース・リユースを優先すべきである。

### 3、事業者も応分の負担必要

本制度の社会的要請に政府や行政が真剣に答えていない。消費者にはリサイクルを大きく呼びかけ作業負担を課しながら、事業者には極めて甘い手段での負担となっている。

社会的コスト削減のためには、リサイクルへの行政コスト負担（税金）の削減が必要であり、受益者としての事業者が（場合により多少は消費者も）応分の社会的コスト負担をするような制度見直しをするべきである。

### 4、曖昧な国の方針

市町村の分別方法が地域によって区々であり、制度としても体をなしていない。

リサイクルが環境や社会的コストの面で正しいのかの検証も疎かになっている。

政府は国民に関心を持ってもらうためにも、状況について「見える化」するための情報発信をしてほしい。制度設計段階での消費抑制への取り組みに対し「サステナブルデザイン賞」といったものがあつたらよい。

国の方針を明確にし、目標値を示してほしい。諸外国と比べて、国の関与が極めて少ないのではないだろうか。